

今治市大三島美術館 館藏品展「院展出品作品」
令和元年12月7日(土)～令和2年3月8日(日)

【小展示室】

	作者名	作品名	分類・形状	寸法 (cm)	制作年
1	青谷 保男	奇跡の日	紙本彩色	130 x 68	1987
2	中島 千波	眠*87-3	紙本彩色	90.8 x 100	1987
3	高橋 秀年	雪明	紙本彩色	145.5 x 71	1995
4	井手 康人	時に臨む	紙本彩色	145.5 x 69.5	1995
5	倉島 重友	春へ	紙本彩色	100 x 100	1985
6	倉島 重友	序曲	紙本彩色	100 x 100	1987
7	浅田 彩	愛染	紙本彩色	148 x 72	1985

【大展示室】

8	菊地 武郎	路地案内	紙本彩色	215 x 170	1996
9	青木 淑江	潮の香	紙本彩色	140 x 70	1993
10	星野 友利	一小節	紙本彩色	198 x 173	1998
11	下島 洋貫	牧童	紙本彩色	169.5 x 212	1985
12	折井 宏光	花川	紙本彩色	174.5 x 213	1979
13	四田 淳三	石垣の村	紙本彩色	198 x 161	1971
14	四田 淳三	仁和寺	紙本彩色	100 x 100	1986
15	内藤 和子	胡茄歌	紙本彩色	218.5 x 163.5	1982
16	星野 友利	見入る	紙本彩色	143 x 59	1993
17	石村 雅幸	白毫寺	紙本彩色	227.3 x 170	1993
18	中島 千波	形態*85-8	紙本彩色	162.1 x 227.3	1985
19	梅原 幸雄	静韻	絹本彩色	222 x 177	1985
20	松本 勝	寒牡丹	紙本彩色	161.5 x 203	1988
21	江尻 十五郎	華	紙本彩色	207 x 182	1983
22	林 功	風の呼び声	絹本彩色	215 x 170	1984

【展示ケース】

1	石村 雅幸	土柱春景	素描	28.8 x 38.8	
2	石村 雅幸	白毫寺山門	素描	47.5 x 36.5	
3	青谷 保男	野うさぎ	本画	27 x 24	
4	青谷 保男	峡谷の神殿	下図	40.5 x 31.2	
5	折井 宏光	花川	下図	23 x 27	
6	荘司 福	はにわ	素描	27 x 24	
7	四田 淳三	石垣の村	下図	34.5 x 26	
8	林 功	精花	本画	55.5 x 62.5	

【田淵俊夫記念展示室】

	作者名	作品名	分類・形状	寸法(cm)	制作年
1	田淵 俊夫	大和秋色 月ヶ瀬	版画	31.5 x 29	
2	田淵 俊夫	大和秋色 大柳生一 I	版画	31.5 x 29	
3	田淵 俊夫	大和秋色 大柳生一 II	版画	31.5 x 29	
4	田淵 俊夫	四季六題 やまざくら	版画	32 x 41	
5	田淵 俊夫	四季六題 やまふじ	版画	32 x 41	
6	田淵 俊夫	四季六題 あさがお	版画	32 x 41	
7	田淵 俊夫	四季六題 ほおづき	版画	32 x 41	
8	田淵 俊夫	四季六題 すすき	版画	32 x 41	
9	田淵 俊夫	四季六題 たけ	版画	32 x 41	
10	田淵 俊夫	京洛心象 白暮	下絵	91 x 116.5	
11	田淵 俊夫	京洛心象 冬詩	下絵	91 x 116.5	
12	田淵 俊夫	四季一 飛鳥川秋色	版画	53 x 65	
13	田淵 俊夫	旅の窓から「緑雨」	版画	42 x 33.5	
14	田淵 俊夫	旅の窓から「萌える」	版画	42 x 33.5	
15	田淵 俊夫	旅の窓から「運河」	版画	42 x 33.5	
16	田淵 俊夫	旅の窓から「黎明」	版画	42 x 33.5	
17	田淵 俊夫	旅の窓から「橋」	版画	33.5 x 42	
18	田淵 俊夫	旅の窓から「夕照」	版画		
19	田淵 俊夫	旅の窓から「黄山」	版画		
20	田淵 俊夫	寒風	下絵	32.7 x 41.8	1979
21	田淵 俊夫	春萌ゆ	下絵	22.4 x 45.9	1987
22	田淵 俊夫	兆	下絵	93 x 68	1991
23	田淵 俊夫	割りしのぶ	版画	44.5 x 33	

田淵俊夫氏略歴：

1941年(昭和16)東京都江戸川区に生まれる。1967年東京芸術大学大学院修了。
 1968年第53回院展に「ヨルバの神々」が初入選、71年春の院展で「秋宴」が奨励賞(以後6回受賞)、81年には外務大臣賞を受賞。また1971年には第15回シェル美術賞展で佳作賞受賞、78年「安曇野」が第1回東京セントラル美術館日本画大賞展優秀賞、79年「輪中の村」が第5回山種美術館賞展 優秀賞を得る。1982年第1回前田青邨賞、同年第67回院展で「流転」が日本美術院賞・大観賞、83・84年と連続奨励賞、85年には第70回院展で「叢叢讃歌」が2度目の日本美術院賞・大観賞を受賞し、日本美術院同人に推挙。1988年第73回院展では文部大臣賞、94年には「大地I・II」で第79回院展内閣総理大臣賞を受ける。学生時代は心象風景を描いていたが、卒業後アフリカへ旅し灼熱の太陽のもとで逞しく生きる植物に感動したのがきっかけで雑草を描き始める。その後、大和などの風景を主題とし、80年代に入って再び草花を題材とすることが多くなる。近年は奈良の心象風景、旅窓から見た生活情景のほか、インドや中国、ベトナムなどを題材としている。精緻な線描と緑や青など淡い色彩を特色とする作品は叙情味を帯びて清く澄み、古典的な優美さを醸している。

1996年大三島美術館に田淵俊夫記念展示室がオープン。以後同館で個展開催。現在、日本美術院理事長。2019年文化功労者に選ばれる。

【応接室】

1	村上 佳苗	阿礼一万人、安万侶千人	油彩	162 x 130.3	2017
2	村上 佳苗	大三島	油彩	45 x 35	2017
3	村上 佳苗	イロ	油彩	72.7 x 60.6	2013
4	村上 佳苗	ムラマイ	油彩	162 x 130.3	2017